

## Application for Participation

### Associated Schools Project(APS) for Promoting International Education

育てよう！健やかな体と豊かな心 学ぼう！地域の力  
～自信をもち、たくましく活動できる下条っ子の育成～

#### 1 Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校は、これまでも「食」と「農」とをつないだ問題解決的学習を推進し、家庭や地域との連携を図りながら、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う教育活動を行ってきた。そこで、さらに地域とともに持続可能な社会づくりの担い手を育む教育（ESD）を推進することを通して、「たくましく活動できる下条の子」の育成をめざしている。

現在、各学年で生活科・下条タイム（総合的な学習の時間）を中心に、家庭や地域との連携を図りながら農業体験を中心とする体験活動に重点をおいた食農単元づくりを行い、実践している。また、家庭と協力して「早寝、早起き、朝ご飯、外遊び」の基本的な生活習慣の徹底を図ったり、栄養指導や保健指導などを意図的に行ったりして心身の健康増進にも努めてきた。さらに縦割り班活動を通して、豊かな心の育成にも取り組んでいる。

これらの活動をESDに結びつけ、推進していくために、これまでの教育課程を見直し、生活科・下条タイムを中心に、ESDカレンダーを作成し、実践をしていくことにした。これまで以上に地域教育ボランティアの発掘に努め、地域や家庭とともに、栽培活動や保健・栄養指導、調理体験、人とのかかわりを通して、子どもの「食の自立」と「豊かな社会性」を育み、自信をもってたくましく活動できる下条っ子を育てていきたい。

このESDカレンダーを基にした実践を継続していくことで、将来にわたって自分の地域・家庭とのかかわりを深め、地域のよさに気づき、地域への誇りと愛着を育んでいくことができると考えている。

#### 2 Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDへの取り組みの入り口を「食べる」と「人と人とのかかわり」の観点とする。なぜならば、本校は校区内に多くの田畑があり、家族に農業従事者も多いという環境を生かし、これまでに地域の協力を得て、野菜や米作りを通して「食の自立」と「豊かな社会性」の育成の学習に取り組んできたからである。そこで、「食べる」に関係する栽培活動や調理実習などの体験活動と、「人と人とのかかわり」に関係する地域連携と縦割り班の活動などを通して、問題点を多面的かつ総合的にとらえ考えることができる思考力を育む。そして自分自身の将来を見つめ、健やかな心身を培い、人とのかかわりを尊重できる子どもを育てていきたい。下条小学校では、こうした学習を深め、発展させていくことで持続可能な社会づくりの担い手の資質・能力の基礎的な部分を育てることを目的と考えている。

そのために本校では、以下の5つの活動で次のような目標を掲げる。

##### (1) 学年ごとに年間通して行われる農業体験と調理実習を中心とする体験活動

- ・ 「すくすく下条っ子農園」での野菜栽培活動と「キラキラ豊作水田」での米作り
- ・ 自分たちでとれた野菜を使って作る弁当づくり（全学年）や下条産給食づくり（6年）

発達段階に合わせ、農業体験や調理実習をすることで、食物を慈しみ育て、収穫する喜びと調理して食べる楽しさを味わい、食への感謝の気持ちと食の自立への意識を高めていく。また、

その中で見つけたさまざまな問題点に向き合い、解決する力を育てていく。

(2) 年間計画に基づいた計画的な健康推進活動

- ・ 「保健・栄養タイム」と「健康デー」の取り組み
- ・ 基本的な生活習慣の定着をめざした月1回行う「元気アップカード」への取り組み

食べ物の栄養や健康に関する知識を広げるとともに、運動や「元気アップカード」への取り組みを通して「早寝、早起き、朝ご飯、外遊び」の基本的な生活習慣の定着を図ることで、健やかな心身を培う助けとする。

(3) 家庭・地域との連携

- ・ 土地改良事業団体「水土里げじょう」の協力、支援による米作り活動
- ・ 農業体験ボランティアによる栽培活動支援と授業参加

地域の人々と協力し、栽培活動を行うことで、農業の苦労や努力を知り、地域とのつながりを大切に、将来にわたって地域の一員として生活していく意識を高める。

(4) 6年生を中心とした年間を通した縦割り班活動

- ・ 縦割り班活動（遠足・サツマイモ、枝豆づくり・1年生と遊ぶ会・530運動等）

1年間を通して、1年から6年までの縦割り班でさまざまな活動することで豊かな心を育てる。

(5) 行事等を関連づけた活動

- ・ 運動会、下条っ子フェスティバル（学芸会と収穫祭）、夏休み作品展、授業参観、学校保健集会、プール清掃

児童、保護者、教員、地域が一体となって活動する機会をもつことで、地域の誇りや地域への愛着心を育み、人とのかかわり、つながりを重視していく姿勢を養う。

### 3 Execution（プロジェクトの実施）

本校では、前述の目的のとおりESDへの取り組みは「食べる」と「人と人のかかわり」の観点から学習を進めていく。「食べる」に関する栽培活動や調理実習などの体験活動と「人と人のかかわり」に関する地域連携、縦割り班の活動などの学習を深め、発展させていくことで持続可能な社会づくりの担い手の資質・能力の基礎的な部分を育てることであると考えている。

下条校区には、多くの田畑があり、ハウス栽培が盛んな地域でもある。三世代からなる家庭も多く、家族に農業従事者も多い。地域教育ボランティアを地域から募集し、一緒に農作業を行ったり、助言や指導をしていただいたりするなど様々な場面で子どもたちにかかわってもらっている。農業のプロから直接指導を受け、農業にかける思いにふれることで子どもたちの目は地域の人々や農業に向いていく。そうしたかかわりの繰り返しによって地域への愛着や食への感謝の気持ちを育んでいく。また、収穫した作物を使って簡単な調理をすることで食技能を習得したり、望ましい栄養や食事のとり方を理解し自ら健康管理する力を身に付けたりしていく。このような取り組みによって健やかな心身を培い、人のかかわりを尊重できる子どもたちを育てることができると考えた。

各学年で目標を達成するために、総合的な学習の時間や生活科などを利用して食農単元を作成し学習を進めていく。そのための実践計画として、ESDカレンダーを作成して実践を進める。

(1) 学年ごとに年間通して行われる農業体験と調理実習を中心とする体験活動

例示 <各学年における生活科・下条タイムでの学習単元>

- \* 1年生:「おおきなあれ ぼく・わたしのらっかせい」
- \* 2年生:「マメマメ大作戦！」
- \* 3年生:「野菜パワーを知ろう！」
- \* 4年生:「野菜といっしょにエコ生活！」
- \* 5年生:「おいしい下条米を作ろう！」
- \* 6年生:「My野菜弁当を作ろう!」「My野菜給食をつくろう!」

例示 <6年生のESDカレンダー>

教科領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
理科	生き物と養分		生き物と養分									
家庭科	朝食のおかずづくり			楽しい食事の工夫					地域とのつながり			
道徳	自然愛・環境保全							体のつくりと働き				
下条タイム	夏野菜の決定・栽培			冬野菜の決定・栽培								
縦割り班活動	1年生と遊ぶ会		遠足		530運動			530運動			6年生と遊ぶ会	
行事	枝豆定植		枝豆収穫		農園草取り			サツマイモ苗定植			サツマイモ収穫	
行事	運動会		学校保健集会		作品展		学校保健集会		下条っ子フェスティバル			



< My野菜給食をつくろう! 6年 >



< 夏野菜づくり きゅうりの支柱立て 6年 >



(2) 年間計画に基づいた計画的な健康推進活動

\* 全学年：朝の活動を利用した「保健・栄養タイム」と「健康デー」

\* 全学年：月1回の「元気アップカード」



< 健康・栄養タイム 歯の染め出し 4年 >

< 健康デー 八の字跳び 全校 >

(3) 家庭・地域との連携

\* 5年生：土地改良事業団体「水土里げじょう」や農業体験ボランティアの協力、支援による米作り

\* 3, 4年生：農業体験ボランティアによるネギ・ニンジン・タマネギづくり



< 稲刈り 5年 >

水土里げじょうの方に手で刈る方法やコンバインで刈り取る方法を教えてもらい、一緒に作業を行う。



< ネギ植え 3年 >

ネギの植え方を農業体験ボランティアに教えていただく。



(4) 6年生を中心とした年間を通した縦割り班の活動

\*全学年：一年生と遊ぶ会，530運動，農園作業，6年生と遊ぶ会



< 1年生と遊ぶ会 全学年 >

二つの縦割り班ごとに、「おにごっこ」や「かくれんぼ」「転がしドッジ」などを行う。写真は「花いちもんめ」を行っている様子



< 枝豆の定植 全学年 >

高学年が低学年に枝豆の植え方を教えている

(5) 行事等を関連付けた活動

\*全学年：運動会，下条っ子フェスティバル（学芸会と収穫祭），夏休み作品展，授業参観，学校保健集会，プール清掃



< 下条っ子フェスティバル 全学年 >

みんなが育てたサツマイモやネギを使って，保護者の方が作ってくださった豚汁をいただく。



< プール清掃 5，6年 >

消防団や保護者の方にプール掃除の協力をお願いした。

4 Type of materials to used (使用する教材)

「小学校 キャリア教育の手引き」 文部科学省 平成 22 年度

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」 文部科学省 平成 22 年度

「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」 愛知県教育委員会 平成 24 年度

「家族で楽しむ こども農業雑誌 のらのら」 農文協

5 Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

指導する教師は、ふだんの生活の中でも児童の態度や姿勢を観察し、活動の後には振り返りカードやプリントへの記述によって評価をする。

その際、次のような評価方法をとる。

- ・ 児童の様々な活動への取り組みの成果を事後のまとめや感想、発表から把握する。
- ・ 学習や活動のまとめとしての授業参観や作品展示会、行事等での成果の発表、意欲や態度を観察し、評価する。

上記の評価とともに学校評議員を通じた地域からの評価や行事や学校の教育活動に関する「学校アンケート」を保護者、児童を対象に年に2回実施する。アンケートの結果をもとに、児童の実態や地域の特色にそったE S Dの活動を展開ができるよう、E S Dカレンダーの見直しをしていく。今後もこの活動を通して、食の自立をめざし、人とのかかわりを大切にできる児童の育成を行う。

On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution the Project ,as outlined above for minimum period of two years. At the end go every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.

(本学校を代表して、ユネスコA S Pの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってA S Pに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年A S Pコーディネーター (\*日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

24 / 1 / 2014

Date (日付)

\_\_\_\_\_  
校長 豊橋市立下条小学校

Principal' name (校長名 (\*直筆))

Position, (校長) Institution 'name (学校名)